


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立高島特別支援学校		知的障害	基	通学区域	板橋区全域、練馬区の一部
	着実な教育活動の展開により児童・生徒の確かな成長を図る				本	進路実績
基	所在地	〒 175-0082 板橋区高島平三丁目7番2号	電話番号 03-3938-0415	情		教育課程の特徴
	アクセス	(1) 都営地下鉄三田線新高島平駅下車徒歩10分 (2) 東武東上線成増駅北口下車国際興業バス高島平操車場行(約15分)高島高校下車 (3)			② 障害特性に応じた教育内容・指導方法の充実	
本	設置学部	小学部、中学部		報	副籍実施状況	③ 個別指導を充実するための教材開発と環境づくり
	幼児・児童生徒数	286名(小学部185名、中学部101名)				④ 一人通学指導の推進
情	学級数	58学級(小学部38学級、中学部20学級)		報	学校評価	⑤ 外部専門員の活用による専門性の向上
	スクールバス	大型8台 7コース(若木、舟渡、長崎、池袋、光が丘、氷川台、豊玉、貫井)				・回答率(保護者90%、児童・生徒97%) ・保護者満足度:個別指導計画の作成・充実96%、個人面談等相談対応98%、電話・窓口対応95%
報	その他			報	ホームページ	http://www.takashima-sh.metro.tokyo.jp

目指す学校 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進し、地域と共に歩む学校①個に応じた教育を推進する②専門性の向上を推進する③特別支援教育のセンター的機能を発揮する④安全で快適な環境と配慮の整備する⑤保護者との連携を大切にする⑥地域社会との信頼関係を高める⑦変化・進展する社会に対応した特別支援教育を推進する

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	専門性の向上・授業力向上 ・「手作り教材開発プロジェクト」による教材・教具の制作と活用。 ・実践報告会等による研究・研修内容の発信。 ・アセスメントに基づく実態把握と指導方法の研修実施。 ・外部専門員の組織的活用及び指導力の向上。 ・芸術系大学との連携による芸術教育の推進	○全児童・生徒にアセスメントを実施し、個々の実態に即した指導を行った。作成した教材は、8月下旬の3日間、保護者や地域の幼稚園、保育所、療育機関、小・中学校向けに教材展示会として開催し、好評を得た。○1月31日に実践報告会を行い、外部からの参加者を含め、本校の1年間の研究活動を報告・共有した。また、研究の成果をまとめ、関係機関に配布した。○外部専門員による指導・助言を受け、教員の指導力向上を図った。とくに若手教員への指導・助言を重点的に行った。○東京藝術大学による助言を受け、図工・美術の授業改善を行った。総合文化祭、公立学校美術展覧会に出展し成果を発表するとともに、地域への公開にも着手した。	
目標②	防災教育・安全教育の充実 ・様々な状況に応じた避難訓練の実施。 ・PTA防災委員会と連携した実践的な防災対策の実施。 ・地域住民や関連機関との連携による宿泊防災訓練の実施。 ・「一人通学マニュアル」に基づく、段階的な一人通学の推進。	○想定する災害や避難経路の見直し等、防災教育推進委員会委員の助言を受けながら避難訓練を実施した。○荒川決壊を想定した訓練、荒川決壊タイムラインに関わる会議への出席、行政の防災担当者を講師として、板橋区の水害(荒川の決壊)対策と避難所設営について研修を実施するなどした。○9月に、地域や高校と連携した宿泊防災訓練を実施した。地域の関係機関及びPTAと防災に関する情報交換や、非常食の試食等を実施した。○中学部を中心に、一人通学の実現に向けた取り組みを推進した。高等部進学等、将来を見据えたキャリア教育の重要性を教職員、保護者ともに共有した。	
目標③	特別支援教育のセンター的機能の発揮 ・特別支援学級の専門性向上事業におけるセンター的機能の発揮。 ・主任児童委員との連携を含む副籍、交流及び共同学習の充実。 ・就学前体験の実施による理解啓発、教育相談、就学支援。	○特別支援学級専門性向上事業の指定を受け、板橋区教育委員会及び区立加賀小学校と連携し、特別支援教育におけるセンター的機能を発揮した。○幼稚園・保育園への巡回相談を実施した。小学校や中学校からの支援要請が増加し対応した。児童・生徒への障害理解啓発学習(出前授業)を実施した。○副籍実施件数は直接交流66名、間接交流29名、合計95名が実施した。副籍に対する理解啓発を狙い、副籍理解推進事業として講演会を実施した。主任児童員の同行により直接交流における活動が充実した。○就学前体験「ここにこひろばたかしま」を4回実施した。土曜日などの学校休業日に開催し、延べ59名が参加した。次年度の適正就学を促進した。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	外部専門員の活用(指導人数)	100	96	150	159回(256人)	260	260	260	288	260	260	260
目標②	一人通学指導の実施人数	15	18	15	25	25	23	25	22	25	25	25
目標③	就学前体験の利用者数	35	37	40	79	45	72	45	56	45	45	45



東京都立高島特別支援学校



学校教育目標

「健康で明るい子」
「意欲をもってがんばる子」
「みんなと仲良くてできる子」

目指す学校像

- 1 個に応じた教育を推進する学校
- 2 専門性の向上を推進する学校
- 3 特別支援教育のセンター的機能を発揮する学校
- 4 安全で快適な配慮のいき届いた学校
- 5 保護者との連携を大切にする学校
- 6 地域社会との信頼関係を高める学校
- 7 変化・進展する社会に対応した特別支援教育を推進する学校



今年度の取組目標

学習活動

- ・個別指導計画の充実
- ・各教科や社会性の学習を含む教科等を合わせた指導の充実
- ・個別課題の充実
- ・アセスメントの実施
- ・学校生活支援ファイルの活用
- ・外部専門員の活用
- ・オリパラ教育の推進
- ・芸術教育の推進
- ・新学習指導要領移行措置

生活指導

- ・学校の「係活動」、自宅の「お手伝い」の推進
- ・一人通学指導の推進
- ・安全指導、防災教育の充実
- ・虐待早期発見、自殺防止



進路指導

- ・キャリア教育の視点の重視
- ・自立と社会参加を目指した指導の充実
- ・卒業後の進路を意識した指導の充実
- ・高等部卒業後に関する情報提供



特別活動

- ・安全かつ円滑な行事の実施
- ・意欲的に参加できる行事の工夫
- ・児童生徒増への対応



健康・体力づくり

- ・保護者と連携した児童・生徒の健康情報の共有
- ・食育、健康教育の推進
- ・体力向上の取組の推進
- ・適切な医療的ケアの実施



研究・研修

- ・組織的かつ計画的な研究、人権尊重教育、キャリア教育の推進
- ・高等部を含む地域との連携強化
- ・教材等制作や集積の推進
- ・アセスメントに基づく指導、授業改善
- ・外部専門員の効果的な活用
- ・実践報告会の実施

学校運営

- ・学校組織の活性化、効率的運営
- ・個人情報紛失事故防止
- ・いじめの未然防止、早期対応
- ・体罰、暴言、不適切な指導の根絶
- ・適正かつ適時的予算執行
- ・学校評価アンケート活用
- ・服務厳正
- ・働き方改革推進

特別支援教育のセンター的機能

- ・副籍の推進
- ・地域連携を含む児童・生徒・保護者支援の充実
- ・丁寧な就学、転学相談
- ・幼保小中、学童等への支援の充実
- ・特別支援学級専門性向上支援事業
- ・関連機関との連携強化

